

東京2020大会を史上最も イノベーティブな大会にするために

For the Most Innovative Olympic and Paralympic Games
Tokyo 2020



(公財)東京オリンピック・パラリンピック
競技大会組織委員会
イノベーション推進室長

平田 英世 Hideyo Hirata

まえがき

2013年9月7日に、ブエノスアイレス（アルゼンチン）で開催された第125次国際オリンピック委員会（IOC）総会において、2020年のオリンピック・パラリンピック競技大会が東京で開催されることが決定した。夏季大会としては1964年以来の感動が56年ぶりに、また日本にやってくることになる。

本稿では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、東京2020大会）と公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下、組織委員会）の概要、イノベーティブな大会にするための組織委員会の取り組み、およびテクノロジー分野への期待を簡単に紹介する。

東京2020大会と組織委員会の概要

(1) 東京2020大会の概要

オリンピックの開催期間は2020年7月24日～8月

9日、パラリンピックの開催期間は2020年8月25日～9月6日である。大会に出場する選手数は、オリンピック約11,000人、パラリンピック約4,400人であり、ロンドン2012大会に比べ増加している。競技数は、オリンピックが33競技339種目、パラリンピックが22競技537種目となっている。また、2017年12月現在で会場数は40会場であり、そのうち東京都外が17会場となっている（図-1）。

組織委員会の職員数は、大会開催時は約8,000人となる。また、組織委員会が募集する大会ボランティアと東京都などが募集する都市ボランティアを合わせて約90,000人以上を見込んでいる。

(2) 組織委員会の概要

組織委員会は、公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）と東京都により2014年1月24日に一般財団法人として設立され、2015年1月1日付で公益財団法人に移行した。組織委員会は、東京2020大会の成功に向けて、JOC、日本パラリンピッ



※東京2020大会PRリーフレットを基に作成

図-1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会会場計画

ク委員会（JPC）、東京都、政府、経済界、そのほかの関係団体とともにオールジャパン体制の中心となり、大会の準備および運営に関する事業を行う（図-2）。具体的には、選手やIOC、国際パラリンピック委員会（IPC）などの大会関係者の入国、宿泊、輸送、飲食、およびテクノロジーなどの大会サービスや、会場整備・管理、エネルギーなどの会場・インフラ関連など、52のFA（ファンクショナルエリア）という機能別チームに分かれて準備・運営が行われる。⁽¹⁾ 52のFA業務は、組織委員会の組織（12局、6室）に分かれて実施・管理されている。⁽²⁾

組織委員会の職員は、東京都、関係自治体、政府、パートナーからの出向者などで構成されており、富士通からも20名以上の方が出向されている。

**イノベティブな大会にするための
組織委員会の取り組み**

東京2020大会は技術先進国の日本で開催されるということもあり、世界中から多くの期待が寄せられている。一部では、何も特別なことを実施しなくても、イノベティブな大会が実現されるのではないかという声すら聞かれる。しかし、いかに技術先進国であるとは言え、これまでにはなかった感動や驚きを与えられなければ、イノベティブな大会としての成功とは言えないと考えている。

組織委員会は現在、イノベティブな大会とはどのようなことかという根本的な問題に、正面から向き合って検討している。

イノベティブな大会とは、基本的に次世代の人々に変革をもたらす、あるいはそのきっかけを提供するというのではないかと考えている。そこで注目しているのが以下の三つの要素である。

(1) 大会ビジョンの達成

組織委員会は、大会ビジョンとして「全員が自己ベスト」「多様性と調和」「未来への継承」の三つのコンセプトを掲げている。⁽³⁾ これらをかかんにイノベティブに達成するかがポイントである。

具体的には、以下の三つを実現する大会を目指し、各種施策を検討している。

- ・アスリートだけでなく、全ての人が参加する意識を高めるなどの「スポーツに対する価値観を変える」
- ・あらゆる垣根が取り払われ、「共生社会に対する意識・行動を変える」
- ・大会の経験を通じて、「新しい価値観・文化を次世代に提案し、根付かせる」

(2) 国民参加の大会の実現

組織委員会では、大会のエンブレムの選定⁽⁴⁾ やマスコットの決定⁽⁵⁾ において、一般公募や小学生による投票を行うなど、多くの方々が様々な形で参加できる工夫をしている。全ての事柄をオープンにできない部分はあるが、準備段階だけではなく、競技が開始された後も多くの方々が何らかの形で参加するといった国民参加の大会にするということも、ある意味イノベティブな取り組みであると考えている。

また、ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）によるオープンで積極的な情報発信を実施しており、情報の提供や機運の醸成に努めている。更に、大会開催中にSNSによる応援参加の企画を検討中であり、世界各国から多くの応援が期待される。

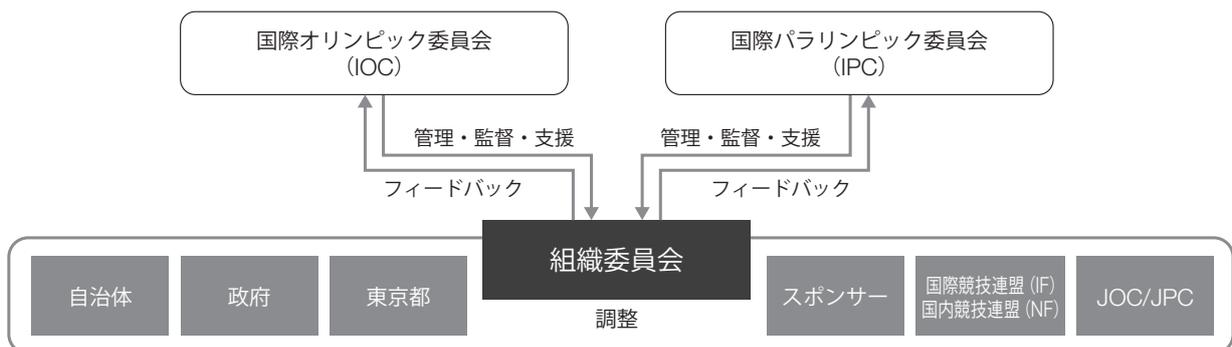


図-2 組織委員会の役割

(3) サステナビリティへの対応

サステナビリティは、世界中の人々が多くの関心を持っているキーワードの一つであり、「もったいない」という言葉に代表される日本ならではの精神を表現するものである。既に、水素社会の到来を先取りするなど、様々なサステナビリティに関する施策が各所で語られている。

具体的には、資源の有効活用を通じて持続可能な社会の実現を目指す、以下のような取り組みを実施している。

・都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト

東京2020大会の入賞メダルを、使用済み携帯電話などの小型家電から抽出した金属から製作する大会史上初のプロジェクト。

・日本の木材活用リレー～みんなで作る選手村ビレッジプラザ～

組織委員会が建設する選手村ビレッジプラザに利用する木材を、大会後に各自治体が持ち帰り、レガシーとして活用するプロジェクト。

テクノロジー分野への期待

イノベティブな大会にするためには、テクノロジー分野への期待も大きい。海外からは、技術先進国である日本で開催される東京2020大会は世界最先端技術のショーケースとなり、先進的な利活用シーンが見られると期待されている。

組織委員会では、富士通をはじめとするテクノロジーパートナーの支援により、以下の技術を実現していきたいと考えている。

(1) 映像・音響技術

既に、一部でショーケース的に実施されている高精細映像技術として、4K/8K映像の実用化と普及が期待される。また、大型ディスプレイと4K/8K映像の組み合わせに、更に最新の音響技術を組み合わせることにより、競技場以外の場所でも、あたかも競技場にいると錯覚するような臨場感が味わえるライブビューイングなどの提供も期待されている。また、新しい視点での映像技術として、自由視点映像、360度カメラによる映像の提供も期待される。

(2) ネットワーク技術

2020年の実用化を目指し、世界最先端の通信技

術である5G（第5世代移動通信システム）が計画されている。5Gの特長である「高速通信」「大容量」「低遅延」を利用した新しいアプリケーション（利用方法）の登場が期待される。更に、競技場、空港、および駅などでのWi-Fi整備が進むことにより、スマートフォンを利用した新しい観戦スタイルの登場や、海外から来る外国人への各種案内も期待される。

(3) IoT, AI（人工知能）、ロボティクス

スポーツをいかに分かりやすく、面白く見せるかという観点では、今後ますます普及が見込まれるIoTやAIを使い、選手の高度な競技や演技の素晴らしさ、魅力を見える化するサービスの提供が期待される。また、ロボット先進国である日本では、ロボットによる道案内や多言語翻訳、人への行動支援などにより、人間とロボットとの共生社会を訴求する。更に、IoTやAIの活用により実現される車の自動運転技術の確立なども期待される。

む す び

本稿では、東京2020大会と組織委員会の概要と、イノベティブな大会にするための組織委員会の取り組み、およびテクノロジー分野への期待について、簡単に紹介した。

東京2020大会まで2年半を切った。これまで組織委員会は、IOC、IPC、および東京都や各自治体、政府と連携し、大会運営のノウハウ習得と企画を中心に準備を進めてきた。これからは、テクノロジー分野において、大会で利用されるシステムの本格的な開発と、テストイベントなどでの運用テストが始まる。

また、平昌2018大会が終わったことから、世界から東京2020大会がより一層注目されることになり、組織委員会では、イノベティブな大会にするための取り組みを本格的に準備していくことになる。テクノロジーパートナーには、大会の安定運用はもとより、イノベティブな取り組みへの貢献および支援が期待されている。

参考文献

- (1) 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会：東京2020大会開催基本計画。2015年2月，p.25-29.

<https://tokyo2020.jp/jp/games/plan/data/GFP-JP.pdf>

- (2) 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会：組織図・名簿.

<https://tokyo2020.jp/jp/organising-committee/structure/>

- (3) 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会：大会ビジョン.

<https://tokyo2020.jp/jp/games/vision/>

- (4) 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会：東京2020大会エンブレム 選考の過程.

<https://tokyo2020.jp/jp/games/emblem/archive/>

- (5) 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会：東京2020大会マスコットの投票について.

<https://tokyo2020.jp/jp/get-involved/education/mascot/>